

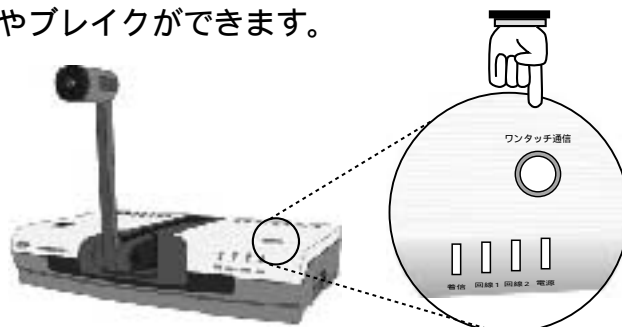
3 活用する

ボタンひとつでチェックインできる設定や、静止画の活用、便利なテレビ電話のかけ方等、様々なワープゲイトの活用法を紹介しています。

ワンタッチ通信ボタンを活用する	54
静止画を活用する	56
着信メロディを使い分ける	58
着信を拒否するには	59
相手のワープゲイトを操作する	60
相手の画面構成を変更する	61
通信履歴からかける	62
詳細設定してかける	62
短縮ダイヤルからかける	63
短縮ダイヤルの登録	63
文字の入力方法	64
設定メニュー	65


ワンタッチ通信ボタンを活用する

本体上面右側の「ワンタッチ通信」ボタンを押すだけで、リモコンを使わず、手軽にチェックインやブレイクができます。





予約済サービスへチェックインします。



非通信中にワンタッチ通信ボタンを押すと、「01. 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」( 47「プラザネットサービスを利用する」) につながります。(お買い上げ時の設定)



特定の相手にワンタッチで接続します。


予め短縮ダイヤル番号を設定しておけば( 63「短縮ダイヤルの登録」)、ワンタッチ通信ボタンを押すことで、特定の相手に接続することができます。( 68「発信設定」-「ワンタッチ発信」)

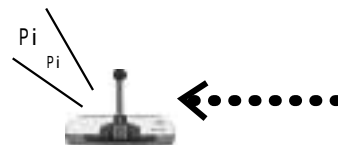


通信中に2回続けて押すと、ブレイク(切断)します。



着信時に押すと、応答します。

相手先から着信があった時にワンタッチ通信ボタンを押すと、応答できます。( 45「着信を受ける」)



ご自身の映像を見られたくない場合は、カメラを起こさないで下さい。

ボタンを押して応答した時点からカメラの映像は相手に送られています。

テレビの電源を切っていて相手の画像が見えない状態でも、カメラがセットされていればこちら側の映像は相手には見えています。

応答しても相手にご自分の映像を見られたくない場合、カメラを収納して下さい。相手側には黒い画面で映ります。

ワンタッチ通信ボタンでの接続方法

ここではお買い上げ時の設定(下記)の場合の動作を説明しています。



「発信設定 - ワンタッチ発信」
発信先種別：サービスメニュー
発信先：01（「予約済サービスへワンタッチでチェックイン」）
発信者：00（好きなサービス利用者を選択できます。）

1



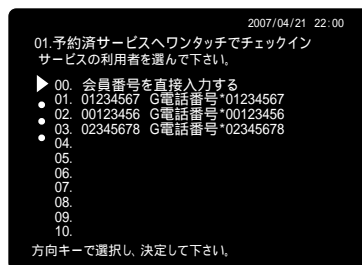
本体上面

ワンタッチ通信ボタンを押します。

ワンタッチ通信ボタンを1回押すごとに、「01」の会員「02」の会員の順に三角のマーク(▶)が1つずつ下がっていきます。ご自身の番号の横に三角のマーク(▶)が来るまでワンタッチ通信ボタンを複数回押して下さい。

予め特定の利用者に設定しておくこともできます。

(P 68「発信設定」-「ワンタッチ発信」)



3

活用する

2

選択したいサービス利用者の横に三角のマーク(▶)がある状態で3秒以上あけると、選択しているサービス利用者で自動的に接続を行います。

サービスを何も予約していない場合はつながりません。

チェックインするサービス先は、「サービスメニュー/短縮ダイヤル/発信履歴」の中から選んで設定することができます。

(P 68「発信設定」-「ワンタッチ発信」)



上記設定は、「発信設定」にて変更することができます。

(P 68「発信設定」-「ワンタッチ発信」)

(例) ワンタッチ通信ボタンを1回押すだけで、(会員情報リスト「01」に登録した)ご自身の会員番号で、短縮ダイヤルに登録している特定の相手にかける
発信先種別：短縮ダイヤル、発信先：01、発信者：01

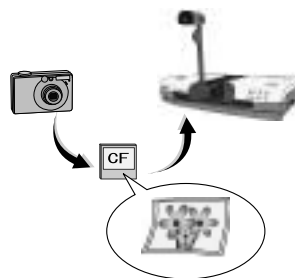
ワンタッチ通信ボタンを1回押すだけで、(会員情報リスト「01」に登録した)ご自身の会員番号で、予約したサービスにチェックインする
発信先種別：サービス、発信先：01、発信者：01

(会員情報リスト「01」に登録した)ご自身の会員番号で、通信履歴の中から発信先を選択して接続する
発信先種別：通信履歴、発信先：00、発信者：01

静止画を活用する

ワープゲイトで静止画を撮影し、通信相手に送信したり、保存したりすることができます。

デジタルカメラで撮影して、カードに保存してある画像を呼び出したり、ワープゲイトで撮影した画像をカードに保存したりすることもできます。コンパクトフラッシュカードを差し込まなくても、本体内蔵メモリに1枚分の画像を保存できます。



本体右側面

本体右側面には拡張機能スロットがあり、コンパクトフラッシュカードを差し込むことができます。

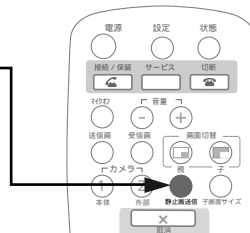
拡張機能スロットにはプラスチックの保護カードが差し込んであります。保護カード下側に指を引っかけて抜き取ってから、コンパクトフラッシュカードを差し込んで下さい。

コンパクトフラッシュカードを差し込む向きに注意して下さい。ワープゲイトにはコンパクトフラッシュカードは付属しておりません。別途電器店等でご購入下さい。
「SunDisk」と「T D K」にて動作確認済です。

1

リモコンの「静止画送信」ボタンを押します。

カメラ画像が静止画で撮影され、下図のように、画面左下に【静止画メニュー】が表示されます。



2

静止画メニューの中から、利用したい項目を選択し、「決定」ボタンを押します。



送信..... 静止画を通信相手に送信します。非通信中は、「送信」ではなく「撮り直し」になります。

保存..... 静止画を保存します。コンパクトフラッシュカードを差し込んでいない場合は、一枚のみワープゲイト本体の内蔵メモリに保存します。保存される画像はJ P E G形式です。

呼出..... コンパクトフラッシュカードの中に保存されている画像データを呼び出します。

消去..... コンパクトフラッシュカード、または本体内蔵メモリに保存されている画像データを消去します。

中止..... 操作を中止します。

☺ コンパクトフラッシュカードの中に、複数のフォルダを作成して、画像を保存している場合でも、リモコンの移動ボタンの左右を押せばフォルダが切り替わります。見たいフォルダが表示されたら、今度は「移動」ボタンの上下で画像を選択します。

静止画を受信したら・・・

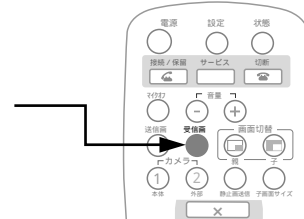
通信中の相手が静止画を送信し、ご自身が受信した場合、送信された静止画が大画面に表示され、ご自身の画面に静止画メニューが表示されます。

静止画メニューの中から、利用したい項目を選択し、決定して下さい。

静止画



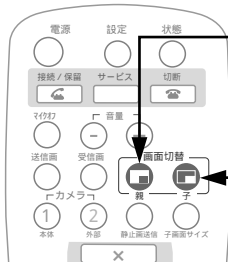
静止画を受信した画面から元の通信中の画面に戻る場合は、静止画メニュー「5.中止」を選択して静止画メニューを消し、受信画ボタンを押します。



3

活用する

画面切替ボタンで、静止画の表示を切り替えられます。



静止画を大画面に表示します。

子画面に受信画(通信相手)を表示します。

静止画が保存されていない場合は、静止画送信ボタンを押した時と同じ動作をします。

静止画を、子画面に表示します。

相手側の映像(受信画像)を大画面に表示し、子画面に静止画を表示します。

静止画を受信も送信もしていない場合は、画面は変化しません。



静止画

受信画



受信画

静止画



リモコンの「受信画」ボタンを押して静止画表示を解除しても、この「画面切替」ボタンで再度表示することができます。

一旦回線を切断すると、同じ静止画を表示させることはできません。
(ワープゲイト本体のメモリやコンパクトフラッシュカードに保存をした静止画であれば、呼び出すことができます。)

着信メロディを使い分ける

「誰宛ての着信か」によってメロディを変更する


☺ 複数の会員でギンガネット電話を共有する場合、着信メロディの鳴り分けをすることで「誰宛て」の電話かを識別することができます。

1 鳴り分けをさせたい会員の会員情報登録画面を表示させます。


サービスメニュー(3/3ページ目)にある「27.設定」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

設定メニューにある「会員情報設定」アイコンを選択し、「決定」ボタンを押します。

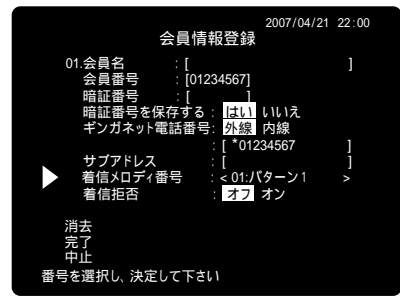
会員情報リストの中から、鳴り分けをさせたい会員を選び、「決定」ボタンを押します。

( 20「会員情報の登録をしましょう」)



2 三角のマーク(▶)を「着信メロディ番号」に合わせ、 「移動」ボタンの左右で選択したいメロディ番号を選びます。

3 三角のマーク(▶)を「完了」に合わせ、「決定」ボタンを押します。



会員情報登録画面

☺ ひとつの端末を一人の会員が利用する場合でも、サブアドレスを目的別に決めて会員情報設定に別々に登録し、違う着信メロディを設定しておくことで、サブアドレスの違いで鳴り分けさせることもできます。仕事の用事でかけてくる相手には仕事用のサブアドレスをつけてかけてもらい、家族には家族用に決めたサブアドレスをつけてかけてもらえば、着信音で区別できます。

「誰からの着信か」によってメロディを変更する

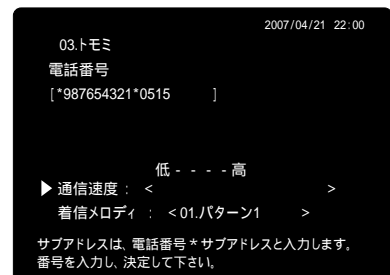
☺ かけてくる相手によって着信メロディを鳴り分けさせることで、「誰から」の着信かを識別することができます。



鳴り分けさせたい会員を、短縮登録します。

 63「短縮ダイヤルの登録」を参照して下さい。



短縮ダイヤルの登録画面で、着信メロディを設定して下さい。




短縮ダイヤル登録画面

着信を拒否するには


全ての着信を拒否する

- 1 設定メニューの  「着信設定」アイコンを選択し、 「決定」ボタンを押します。

設定メニューは、サービスメニュー(3/3ページ目)にある「27.設定」アイコンを選択し、 「決定」ボタンを押して表示します。

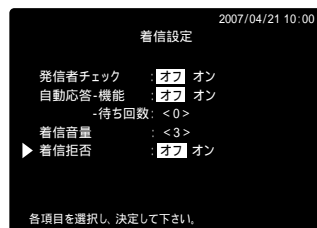


設定メニュー画面

- 2 着信拒否「オン」を選択し、 「決定」ボタンを押します。



「決定」ボタンを押した後に「取消」を押すと設定メニュー画面に戻ります。


着信拒否を解除したい場合は、着信拒否を「オフ」に戻します。



着信設定画面

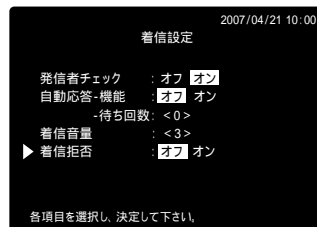
短縮登録している会員以外からの着信を拒否する

- 1 上記 1 と同じ要領で、設定メニューの  「着信設定」アイコンを選択し、 「決定」ボタンを押します。

- 2 発信者チェック「オン」を選択し、 「決定」ボタンを押します。

「決定」ボタンを押した後に「取消」を押すと設定メニュー画面に戻ります。


解除したい場合は、発信者チェックを「オフ」に戻します。





着信設定画面

特定の会員宛にかかってきた着信を拒否する

- 1 着信を拒否させたい会員の会員情報設定画面を表示させます。


サービスメニュー(3/3ページ目)にある「27.設定」アイコンを選択し、 「決定」ボタンを押します。

設定メニューにある「会員情報設定」アイコンを選択し、 「決定」ボタンを押します。

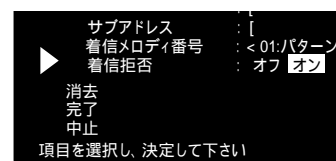
会員情報リストの中から、拒否させたい番号に三角のマーク(▶)を合わせ、 「決定」ボタンを押します。



会員情報設定画面

- 2 着信拒否「オン」を選択し、「完了」に三角のマーク(▶)を合わせて 「決定」ボタンを押します。

着信拒否を解除したい場合は、着信拒否状態「オフ」を選択し、着信拒否を解除して下さい。



会員情報設定画面

3

活用する

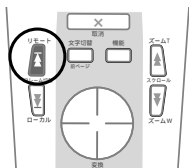
相手のワーブゲイトを操作する

！ 通信相手のワーブゲイトを操作できるのは、ダイレクトネットサービスでの通信中です。

1 ご自身も通信相手も、「相手カメラ制御」をオンにします。

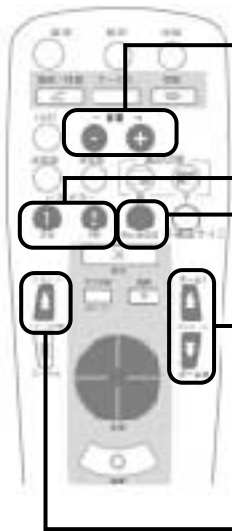
(66「映像音声設定」 - 「映像設定」 - 「相手カメラ制御」)

2 制御する側は、「リモート」ボタンを押します。

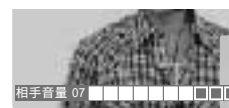


リモート制御モードになり、相手のワーブゲイトを遠隔で操作できる状態になります。

3 リモコンで相手のワーブゲイトを遠隔操作します。



「音量」ボタンで通信相手の音量を調節できます。「相手音量」と表示が出ます。



相手のカメラの映像を切り替えられます。カメラ1を押せば相手のワーブゲイトの内蔵カメラの映像、相手が外部カメラを接続している場合はカメラ2で外部カメラの映像に切り替わります。

「静止画送信」ボタンを押すと、相手のカメラ画像が静止画で写され、その画像がご自身側に送信されてきます。(56「静止画を活用する」)

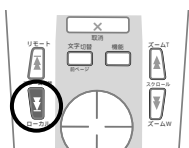
「ズーム」ボタンで通信相手のカメラのズームの調整、ズームで画像を拡大した場合は「移動」ボタンで画像の表示位置の調節ができます。

リモート制御モードのときにさらにリモートボタンを押すと、通信相手の画面が、ご自身と同じ画面構成(子画面のサイズ・位置、表示しているホームページ等)になります。(61「相手の画面構成を変更する」)

相手が可動式カメラ(104オプション品一覧)を接続している場合は、「ズーム」ボタンで可動式カメラのズーム、「移動」ボタンでカメラの向きを調節します。



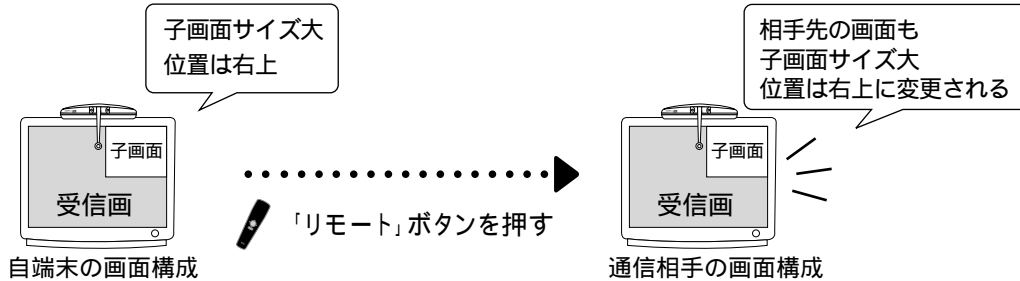
4 「ローカル」ボタンを押すと、リモート制御モードを解除します。



相手の画面構成を変更する

！ 通信相手の画面構成を変更できるのは、ダイレクトネットサービスでの通信中です。

「リモート」ボタンで、通信相手の画面を、ご自身の画面と同じ画面構成に変更することができます。また、IP通信回線でご自身も通信相手もホームページを表示している場合、この操作により今ご自身が見ているのと同じホームページを通信相手に表示させることができます。



1

自分の画面を、相手画面に表示させたい画面構成にします

子画面サイズ、子画面の位置、ホームページ()等、お好みの画面構成にして下さい。

ご自身も、通信相手もホームページを表示させている場合は、ご自身の見ているホームページと同じページを相手に表示できます。

相手カメラ制御が

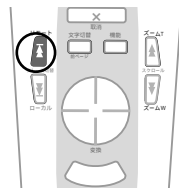
ご自身「オン」
相手「オン」の場合

相手カメラ制御が

左の設定以外
の場合

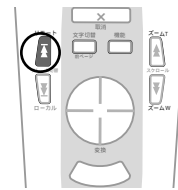
2

「リモート」ボタンを2回押します



2

「リモート」ボタンを押します




相手端末の画面構成が変わります


「相手カメラ制御」が、ご自身…オン、相手…オンの場合、リモートを2回押して相手画面構成を変更した後は、「リモート制御」モード(60参照) になっている状態です。

「ローカル」ボタンを押すと、リモート制御モードを解除し、元の通信状態に戻ります。

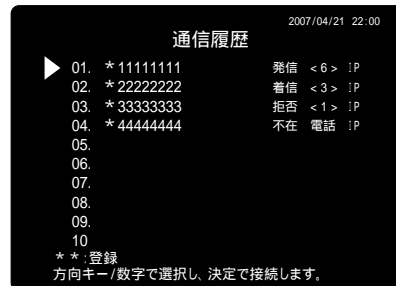
通信履歴からかける

「通信履歴」には、発信、もしくは着信した通信相手の電話番号が残ります。履歴に残った番号にかけたり、番号を短縮ダイヤルに登録することができます。

1 ダイレクトネット画面より「通信履歴から接続」を三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押します。


2 通信履歴表示画面から、発信したい相手先の番号に三角のマーク(▶)を合わせ、「決定」ボタンを押します。

3 相手が応答するのをお待ち下さい。




通信履歴表示画面




着信時に  「取消」ボタンを押すと、通信履歴には「拒否」の履歴が残ります。通信履歴に残った番号を三角のマーク(▶)で選択し、「*」を2回押すと、その番号を短縮ダイヤルに登録できます。通信相手が会員情報登録で会員名を入力している場合は、着信履歴の名前をそのまま短縮ダイヤルに登録できます。(P.63「短縮ダイヤルの登録」)

詳細設定してかける

通信速度を変更してテレビ電話をかけたいときに利用します。この設定はダイレクトネットサービスでのみ有効です。

1 ダイレクトネット画面より「詳細設定して接続」を三角のマーク(▶)で選択し、「決定」ボタンを押します。

2 「電話番号」に三角のマーク(▶)を合わせ、「*」の後に相手のギンガネット電話番号を入力します。

3 「通信速度」に三角のマーク(▶)を合わせ、 「移動」ボタンの左右で、< > 内の通信速度を設定します。


の数が多ほど速度が速く、少ないほど遅くなります。「電話」の場合は音声のみの通信です。

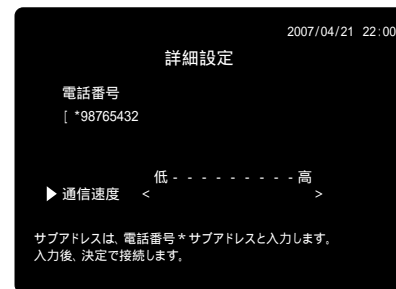
本機から一般電話(加入電話)や携帯電話、PHSにはかけられません。(2007年4月現在)

詳細設定で速度を変更せずにダイレクトネットサービスを利用する場合は、最高速度(の数が最大数の状態)で発信します。



通信中画像が乱れたり、音声途切れたりする場合は、お持ちのIP通信回線の帯域が狭く、通信が不安定になっている可能性があります。こういった場合には通信速度を遅く設定します。(の数を減らします。)映像と音声の品質を落とすことで、通信の安定性を保ちます。

4  「決定」ボタンを押し、相手が応答するのをお待ち下さい。



詳細設定画面

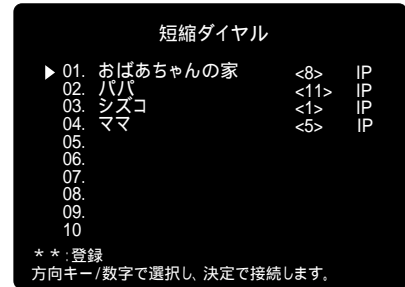
短縮ダイヤルからかける

短縮ダイヤルによくかける相手を登録しておけば、簡単な操作でかけられます。

1 ダイレクトネット画面より「短縮ダイヤル」を選択し、「決定」ボタンを押します。

2 短縮ダイヤル画面から発信したい相手先の番号に三角のマーク(▶)を合わせます。

3 「決定」ボタンを押し、相手が応答するのをお待ち下さい。



短縮ダイヤル画面

3

活用する

短縮ダイヤルの登録

ダイレクトネット画面より「短縮ダイヤル」を選択し、「決定」ボタンを押します。

短縮ダイヤル画面で、「移動」ボタンで短縮登録したい番号に三角のマーク(▶)を合わせ、「*」を2回押します。

名前を入力します。(P.64「文字の入力方法」)

- (1) 文字種を選択し、「決定」ボタンを押します。
- (2) 文字を選択し、「決定」ボタンを押して入力します。
- (3) 名前の入力が終わったら、「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。

入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「電話番号」の欄に、先頭に「*」を入力してから、登録する相手のギンガネット電話番号を入力します。

サブアドレスがある場合には「* ギンガネット電話番号 * サブアドレス」と入力します。

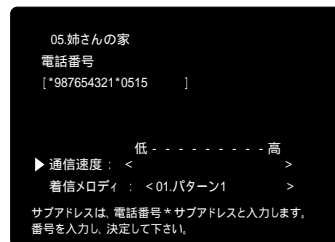
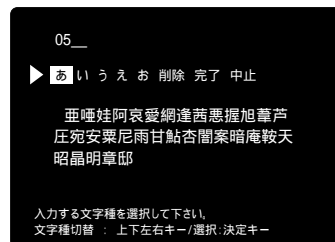
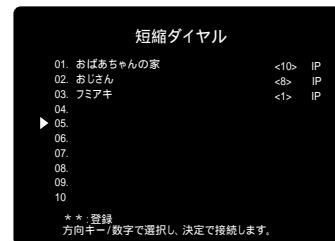
「取消」ボタンを押すと右端から一文字ずつ消すことができます。

その他の項目を選択します。

通信速度・・・登録した番号へかけるときの速度を設定します。(通信速度の設定について詳しくは(P.62「詳細設定してかける-3」)を参照して下さい。)

着信メロディ・・・登録した番号からかかってくるときは、どの着信メロディが鳴るようにするか選択します。ここで会員ごとに違う着信メロディを設定しておく、「誰から」の電話かをメロディによって識別することができます。(P.58「着信メロディを使い分ける」)

「決定」ボタンを押して登録を完了します。





文字の入力方法

会員情報設定の会員名や、短縮ダイヤルに登録する相手の名前を入力しておく、
分かりやすくなります。
会員情報設定で会員名を登録しておく、通信中相手端末に表示されます。

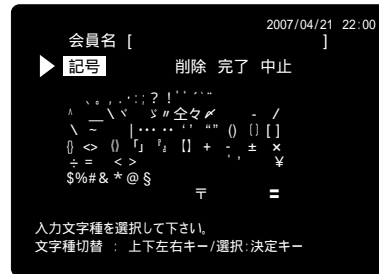
文字を入力する



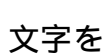
「移動」ボタンで文字種を選択します。

上下移動をさせると「記号」「英、数字」「ひらがな」「カタカナ」「ギリシャ文字」「ロシア文字」「(漢字入力)あ行」「か行」...の順で切り替わります。

入力したい文字種を選択し、「決定」ボタンを押します。



文字種選択画面



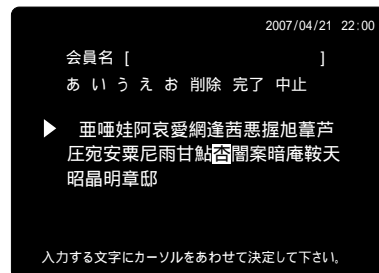
文字を「移動」ボタンで選択します。

カーソルを移動させて文字を選択し、「決定」ボタンを押すと入力できます。

入力を完了します。

とを繰り返して入力し終えたら、「移動」ボタンで「完了」を選択し、「決定」ボタンを押します。

入力した設定を破棄して設定メニューに戻る場合は「中止」を選択し 「決定」ボタンを押します。



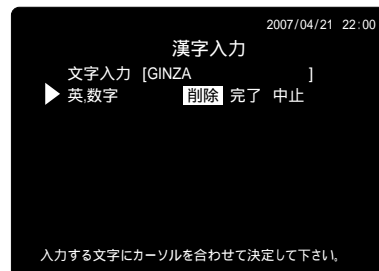
入力文字選択画面

入力した文字を訂正する



「移動」ボタンで「削除」を選択し、「決定」ボタンを押すごとに、後ろから一文字ずつ消えていきます。

正しい文字を入力し直します。



入力する文字にカーソルを合わせて決定して下さい。

設定メニュー

お客様のご使用環境、用途に応じて様々な設定をしていただくことができます。より快適な環境でお使いいただけますよう、以下の設定方法をご参照下さい。



設定メニュー画面は、サービスメニュー(3/3)の「27.設定」アイコンを選択・決定して表示させます。

通信中でも、リモコンの「設定」ボタンで設定メニューを表示させ、設定を変更することができます。ただし通信中の場合は、「IP接続設定」画面は表示できないようになっています。



会員情報設定

3

活用する

会員名

登録したい会員の名前を入力します。
(64 「文字の入力方法」)

この項目に名前を入力しておく、会員リスト上に表示されるので分かりやすくなります。会員名を登録しておく、通信中、相手端末に表示されます。

会員番号

登録したい会員の会員番号(IDナンバー)を入力します。

暗証番号

登録内容確認票に記載の暗証番号(パスワード)を入力します。

暗証番号を保存する

入力した暗証番号を保存するか否かを選択します。

保存した場合、暗証番号をチェックインの度に入力する必要がないので便利です。ただし、登録している会員以外の方でもサービスを利用することができますので、その点をご了承の上保存して下さい。

ギンガネット電話番号

登録内容確認票に従って「外線 内線」の選択と「ギンガネット電話番号」の入力をします。
ダイレクトネットサービスを利用する場合は、ギンガネット電話番号で相手にテレビ電話をかけることができます。

「内線」ギンガネット電話番号(別途登録要/有料)・・・LANやVPN(Virtual Private Network)のような私的なネットワークを使用して通信を行う場合や、オフィス内で使用している内線と同じ番号でギンガネット電話番号を登録したい場合に便利です。また内線ギンガネット電話番号を使った通信は、グループ登録してあるワープゲイト同士でのみ接続が可能である為、セキュリティ面でも安心です。グループ内で重複しない番号であれば自由に設定できます。ご希望の方は、ギンガネットセンター(☎ 06-7688-1010)までお問合せ下さい。

サブアドレス

一台のワープゲイトを一人の会員が色々な目的で利用する場合に、サブアドレスを目的別に決めて別々に会員情報設定に登録してそれぞれ違う着信メロディを設定しておく、サブアドレスの違いで鳴り分けさせることができます。(58 「着信メロディを使い分ける」)

着信メロディ番号

ひとつの端末を一人の会員が利用する場合でも、サブアドレスを目的別に決めて会員情報設定に別々に登録し、違う着信メロディを設定しておく、サブアドレスの違いで鳴り分けさせることもできます。仕事の用事でかけてくる相手には仕事用のサブアドレスをつけてかけてもらい、家族には家族用に決めたサブアドレスを付けてかけてもらえば、着信音で区別できます。(58 「着信メロディを使い分ける」)

着信拒否

「オン」に設定すると、上記で登録したギンガネット電話番号にかかってくる着信を拒否します。
(59 「着信を拒否するには」)

会員情報登録

01.会員名	:	[]	
会員番号	:	[01234567]	
暗証番号	:	[]	
暗証番号を保存する	:	[はい	いいえ]
ギンガネット電話番号	:	[外線	内線]
サブアドレス	:	[*]	
着信メロディ番号	:	[<01:パターン1	>]
着信拒否	:	[オフ	オン]

消去
完了
中止
会員番号(8桁)を入力し、決定して下さい。



端末設定

短縮ダイヤル登録

短縮ダイヤル登録の許可もしくは禁止を設定します。
(お買い上げ時の設定では「許可」)

漢字相手先登録

短縮ダイヤル等、相手先の名前を登録する際、漢字の使用許可もしくは禁止を設定します。
(お買い上げ時の設定では「許可」)

自動スタンバイ

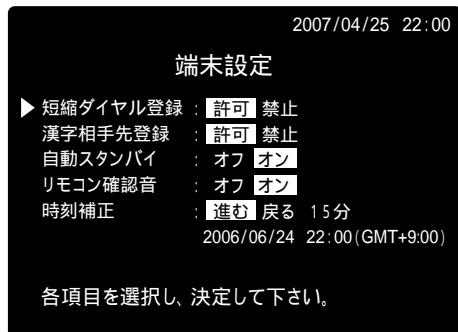
「オン」にしておくと、何も操作をせずに一定時間(5分)が経過すると、自動的に電源がオフになります。
(お買い上げ時の設定では「オン」)

リモコン確認音

リモコンを押した時に、ヘッドセットから確認音を鳴らすか否かを選択します。確認音は、正しいときには「ピッ」、間違えて押したときには「ブッ」と鳴ります。(お買い上げ時の設定では「オン」)

時刻補正

海外で使用する場合等で時刻表示を変えたいとき、1時間ごと、15分ごとに調節できます。表示を1時間進める場合は「進む」、1時間戻す場合は「戻る」、15分単位で調節する場合は「15分」を選択して、「決定」ボタンを押して調整します。



映像音声設定

それぞれの項目に三角のマーク(▶)を合わせ、「決定」ボタンを押すと、設定画面が表示されます。

映像設定 (右図 1)

映像モード

映像の4つのモードを切り替えます。
左へ行くほど高画質に、右へ行くほど動きがスムーズになります。(お買い上げ時の設定は標準)

相手カメラ制御

通信相手のワーブゲイトの音量調節、相手のカメラ画像のコントロールの可もしくは不可を切り替えます。相手側もオンにする必要があります。相手側で、オプションの可動式カメラを付けている場合は、その向きやズームのコントロールも可能です。(お買い上げ時の設定はオフ)
(▶ 60「相手のワーブゲイトを操作する」)

カメラ調整 (右図 2)

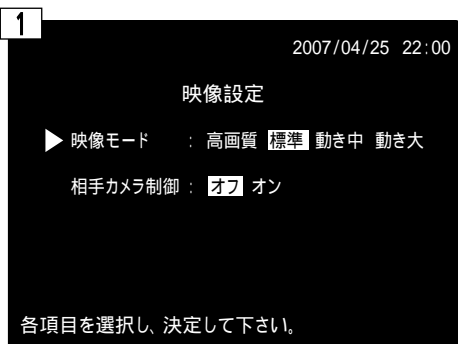
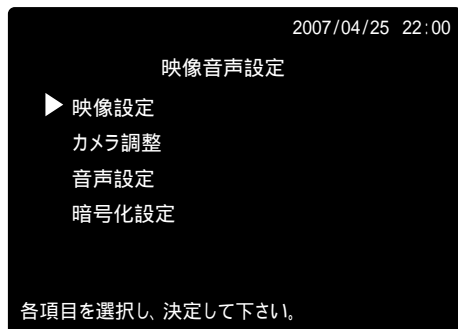
カメラ映りを調整します。

外付けカメラのカメラ映りを調整をする場合は、カメラ1調整画面でリモコンの「カメラ2」ボタンを押して、カメラ2調整画面を表示します。

調整したい項目に三角のマーク(▶)を合わせ、
⊕「移動」ボタンの左右で設定値を変更します。
(各設定値: -16 ~ +16 電子ズームは00 ~ +16)

「標準に戻す」に三角のマーク(▶)を合わせて
⊕「決定」ボタンを押すと、すべての値が00に戻ります。

調整が終わったら、「戻る」を選択し、「決定」ボタンを押すと映像音声設定画面に戻ります。



カメラ1調整画面

調整できる項目は、以下の6項目です。(カメラを外付けした場合の、カメラ2の調整は「使用環境」以外の5項目です。)

- 使用環境.....スタンダード、リビング、オフィスの中から、映りの良い設定を選んでください。ご利用の環境の明るさに合わせてカメラ映りを自動で調整します。(お買い上げ時の設定では「スタンダード」)さらに映りを調整したい場合は、下記の項目で微調整をして下さい。
- 明るさ.....値が増えるほど明るくなります。< -16 ~ +16 >
- コントラスト...被写体の明暗の差を設定します。値が増加するほど差がはっきり映ります。< -16 ~ +16 >
- 色の濃さ.....値が増加するほど色が濃くなり、減少するほど色が薄くなります。< -16 ~ +16 >
- 色合い.....色合いの調整をします。< -16 ~ +16 >
- 電子ズーム.....値が増えるほど画像が拡大します。< 00 ~ +16 >

音声設定

音声

音声の質を優先させるか、映像の質を優先させるか、次の4つの設定の中から選べます。

音声なし / 自動 / 音声優先 / 映像優先

(お買い上げ時の設定では「自動」...通信回線速度によって音声優先 映像優先が自動で切り替わります。)

音声出力モード

出力音質を選択できます。標準 / 高 / 中 / 低

(お買い上げ時の設定では「標準」)

音声送信

「遅延」に設定すると、映像の動きに音声が合うように音声送信を遅延します。スピーチや講演等、ひとりの人が話す場合にお勧めします。(お買い上げ時の設定では「標準」)

外部スピーカ

なし:外部スピーカを使用しない場合。(ヘッドセットで音声を聞く場合。)

あり:音声出力端子にテレビなど外部スピーカを接続し、スピーカから音声を出力する場合、エコーキャンセラがオンになります。(102「用語集 - エコーキャンセラ」)(お買い上げ時の設定では「なし」)

外部マイク

なし:ヘッドセット、またはハンズフリーマイクを使用する場合。

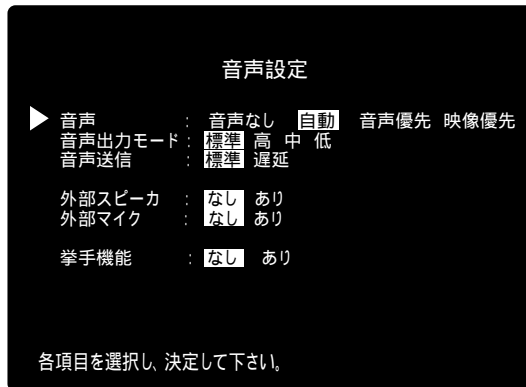
あり:音声入力端子に外部マイクを接続して使用する場合。(お買い上げ時の設定では「なし」)

挙手機能

「あり」に設定すると、マイクオフ解除時(マイクオフ状態からマイクオフボタンを押すと)、ポーンという挙手音が鳴ります。(お買い上げ時の設定は「なし」)

ミーティングネットサービス等で話者切り替え機能を採用している場合があります(46)、手話でのミーティングネット利用でも、リモコン操作でご自身の映像を他の相手の画面へ表示させることが可能です。

(話したい人が意思表示するのにも有効)



ハンズフリーマイクや外部マイクを使い、音声を外部スピーカから出力させる場合

自分の音声がエコーして自分のスピーカから聞こえてくる場合

相手の方にワーブゲイトの音量設定値を上げてもらいましょう。相手側でエコーキャンセラが強く働きます。

(上記の操作により、相手側で音が大きくなり過ぎてしまう場合は、相手の方にテレビなど外部スピーカの音量を下げて調節してもらって下さい。)

相手にエコーが聞こえている場合、上記の操作をご自身側で行いましょう。

...ご自身側のワーブゲイトの音量設定値を上げ、必要に応じてテレビなど外部スピーカの音量を下げて調節して下さい。

相手からの音声が途切れて聞こえる場合

エコーを抑制する機能が強く働きすぎている可能性があります。相手の方にワーブゲイトの音量設定値を下げてもらいましょう。

(上記の操作により、音が小さくなり過ぎて聞こえづらい場合は、テレビなど外部スピーカの音量を上げて調節してもらって下さい。)

ご自身からの音声が相手側で途切れて聞こえる場合は、上記の操作をご自身側で行いましょう。

...ご自身側のワーブゲイトの音量設定値を下げ、必要に応じてテレビなど外部スピーカの音量を上げて調節して下さい。



発信設定

発信制限

発信方法の制限を行うことができます。制限方法は以下3種類あります。(お買い上げ時の設定では「制限なし」)

制限なし

短縮のみ可・・・短縮ダイヤルでの発信のみ許可します。
直接禁止・・・電話番号を入力しての発信を禁止します。

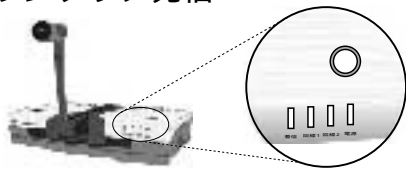
発信者番号通知

通信時、相手側に会員名を通知するか否かを選択できます。(お買い上げ時の設定では「通知する」)

呼出音

呼出音のオンもしくはオフを切り替えます。(お買い上げ時の設定は「オン」)

ワンタッチ発信



ワンタッチ通信ボタンを押した時に、発信する先を設定できます。
(54「ワンタッチ通信ボタンを活用する」)

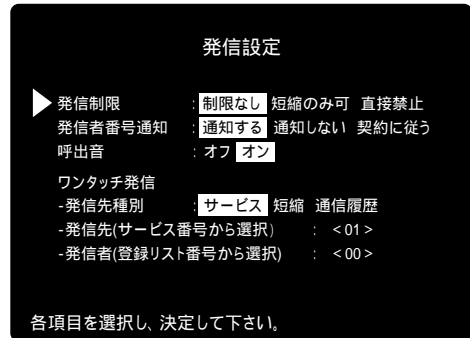
発信先種別・・・サービス / 短縮ダイヤル / 通信履歴の中から選択します。
(お買い上げ時の設定は「サービス」)

発信先……………「発信先種別」で選択した項目の中の、どの番号に発信するかを選択します。
(お買い上げ時の設定では「発信先種別:サービス<01> 予約済サービスへワンタッチでチェックイン」)

<00>に設定した場合は、ワンタッチ通信ボタンを押すごとに、発信先種別で指定した設定(サービス、短縮ダイヤル、通信履歴)の項目を「01」、「02」…の順に選ぶことができます。実行したい項目を選択した状態で3秒間待つと、項目を実行します。

発信者……………会員情報リストより、どの会員から発信するかを選択します。

<00>に設定した場合は、ワンタッチ通信ボタンを押すごとに「01」、「02」…の順にサービス利用者を選ぶことができます。



着信設定

発信者チェック

オンにすると、短縮ダイヤルに登録している会員からの着信にのみ応答できます。それ以外は、自動的に拒否します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)

自動応答 - 機能

オンにすると、ダイレクトネット利用時、相手からの着信に自動で応答する機能です。オフの場合は手動応答です。
(お買い上げ時の設定はオフ)

自動応答 - 待ち回数

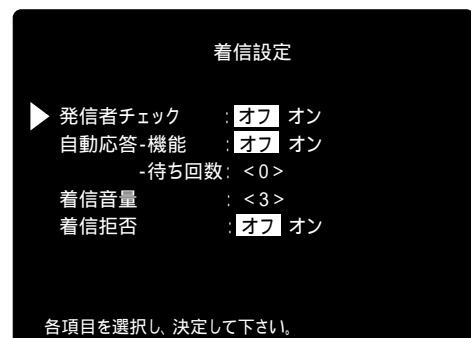
自動応答時に鳴らす着信音の長さを設定します。設定値を1上げるごとに着信音が3秒間ずつ長く鳴ります。
(お買い上げ時の設定は「0」)

着信音量

着信音量を選択し、設定します。(お買い上げ時の設定は「3」)

着信拒否

オンにすると、ワープゲイト宛の着信を全て拒否します。(お買い上げ時の設定は「オフ」)





保守

機能診断

ご自身の映像・音声・回線の状態をチェックできます。

(1)「映像」「音声」「LAN」のチェックしたい項目を選択し、「決定」ボタンを押します。

(2)別の項目をチェックする場合は、一旦「停止」を選択・決定してから、次の項目を選択します。

「映像」:相手側に送信するご自身の映像が表示されます。

「音声」:相手側に送信するご自身の音声がヘッドセットから聞こえます。

「LAN」:実際の通信中の映像と音声を併せて確認できます。回線ケーブルが接続されていない場合は、「回線はずれ」のメッセージが表示されます。

管理者コード

管理者コードを登録すると、正しい管理者コードを入力した場合だけ、各種設定画面が表示されます。コードを入力しないと、各種設定画面が表示されません。

登録データ全消去

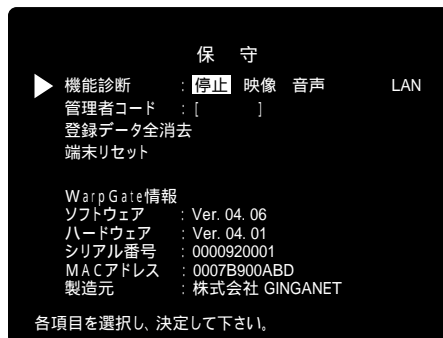
会員情報・短縮ダイヤル・通信履歴・端末情報等、ご自身で入力したデータすべてを消去します。

端末リセット

端末の設定をすべて初期状態に戻します。

Warp Gate 情報

ワーゲイトに関する情報が記載されています。



3

活用する



IP 接続設定

設定の仕方は 29「IP接続設定しましょう」を参照して下さい。

PPPoE 機能

「使う」を選択するとユーザ名とパスワードの入力欄が表示されます。「使わない」を選択すると、ユーザ名とパスワードの入力欄が消え、UPnP機能欄と着信ポート欄が表示されます。

UPnP 機能

ルータを経由して接続する場合に設定をします。

着信ポート

ルータを経由して接続する場合に設定をします。

ポート対称化

ご利用のルータの種類によっては、ルータにポートマッピング(自動、手動どちらも)の設定をしなくても、この機能をオンに設定するだけで発信が可能になります。

DHCP機能

「使う」を選択するとIPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイが自動で設定されます。「使わない」を選択するとIPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイの入力欄が表示されます。

プライマリDNS /セカンダリDNS

インターネットプロバイダから「プライマリDNS」と「セカンダリDNS」の指定がされている場合は入力します。通常は自動的に取得されます。

ルータ設定

特定の条件の下であれば、ワーゲイトのブラウザでルータの設定を行うことができます。

ワーゲイトがルータに接続されていて、条件に当てはまる場合のみ「ルータ設定」が表示されます。それ以外のときは画面には表示されません。

(36「ワーゲイトのブラウザでルータの設定を行う」)

